

日常の風景になることを・・・



アナログレコードのサウンドを体験しよう

2021年11月13日(土)～

試聴体験 12:00～15:00

オープン日時は不定期開催なので QR コードで予定
を必ず確認してからお越し下さい

入場無料 雨天・強風時は中止



場所:千葉公園南口

千葉県千葉市中央区弁天3丁目1-1

主催=株式会社アカリネ 千葉市中央区弁天3丁目8-19

協力=株式会社拓匠開発

千葉県心ウォークラブル推進社会実験Chiba Noki-Nyoki Projectの一環として設置しています

メール=info@acarine.jp

mobileroomのロゴは登録商標です(商標 第6029263号)



55mobileroom

mobile room

1. クルマからヒトへ

数年前から自動運転技術の話題を耳にする機会が多いと思います。とかくクルマのハード面に注目が集まりがちです。20世紀はモーターリゼーションの発達によって移動に便利な社会を実現させました。近年、海外を中心にクルマからヒトを中心に移し、道路や都市計画、ストリートデザインなどを見直す動きがあります。我が国も国交省から全国の自治体へ呼びかけて「ウォーカブル推進社会実験」が昨年から実施されています。千葉市は「千葉都心ウォーカブル推進社会実験 CHIBA NOKI-KNOKI PROJECT」の名称で、千葉駅西口広場と弁天2丁目商店街通りを中心に進められています。

2. モバイルルーム

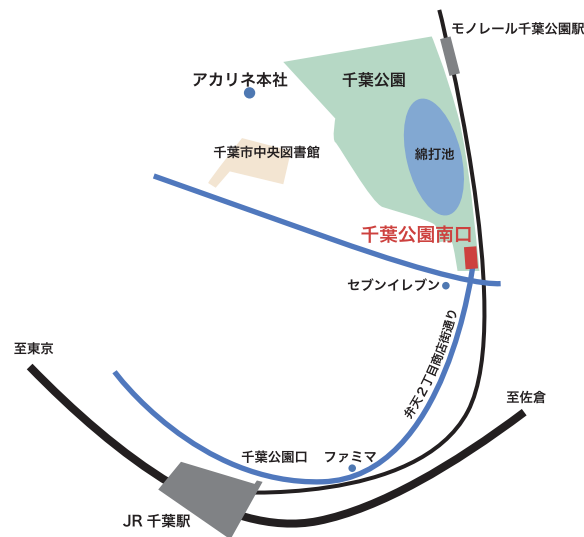
モバイルルームのデビューは、11月2日から千葉公園南口の場所をお借りして「居動（いどう）するサードプレイス」と題して車体展示・ECMサウンドの試聴体験を行いました。丸くて白い車体を目にした方も多いでしょう。若い人たちは、アナログレコードを初めて聴く人も多く、聴き終わった後の笑顔が印象的でしたので、11日に終了予定だった展示期間の延長を決めました。今回のコンセプトは、「日常の風景になることを・・・」。非日常的なお祭りイベントではなく、モバイルルームが身近な場所に居ることが当たり前前の社会になることを一歩ずつ進めて行きたいと考えています。

3. 「住み開き」

アサダワタルの提唱する「住み開き」と言う言葉を聞いたことがありますか。リタイアしたシニアが、いま実際に住んでいる家で、使わなくなった部屋をカフェにしたり、コレクションの部屋のような「私的な場を公に開く」という意味です。モバイルルームは「住み開き」ではなく、あたかも家から部屋の一部が切り離されて、街の中に移動するサードプレイス。ゆえに「居動（いどう）するサードプレイス」と名付けました。

4. 「アナログレコード」のサウンドを体験しよう

公園の落ち葉も増え、冬に向かう季節ですが、モバイルルームのテールゲートを全開して音楽を流します。モバイルルームのテール部分は家の縁側のような場所なので、公園の風景を眺めながら外で聴く音楽は、きっと新鮮な体験をもたらすことでしょう。温かい飲み物を持参して、どうぞご参集ください。



アクセス＝JR千葉駅千葉公園口より 徒歩約7分
京成千葉駅より 徒歩約8分
モノレール千葉公園駅より 徒歩約3分